

## 水温リモート監視装置を活用した猛暑時へい死率を低減できる養殖生産技術の開発

### 事例の概要

- 青森県陸奥湾では、ホタテガイの生産が盛んであったが、平成22年に異常高温水温により大量へい死が発生。
- このため、(地独)青森県産業技術センター水産総合研究所が中心となり、「ホタテガイ養殖生産技術開発」研究グループを発足し、異常高水温時でもへい死率を半減する生産技術を開発。 出典：<http://www.fishexp.hro.or.jp/cont/jochokai/award/hioc3b0000001e0a-att/H27gyouseki01.pdf>
- 議論の結果、「水温予測技術の開発」と「養殖生産技術の改善」を実施。
- 水温予測技術の開発では、1:異常高水温発生メカニズムの解明, 2:養殖漁場内の水温モニタリングシステム構築, 3:水温予測方法の開発がテーマ化され、養殖漁場内の水温モニタリングシステムのテーマにおいてブイ式イー・モニターを活用。
- 令和元年現在、10機以上のシステムで養殖場内を監視し、水温予測に有益な深度別水温情報を1時間ごとに提供。  
[青森県のご活用事例](https://www.aomori-itc.or.jp/uminavi/)は、(地独)青森県産業技術センター殿が運営されている海ナビ@あもり: <https://www.aomori-itc.or.jp/uminavi/>
- 本事例と平行して、名古屋工業大学では三重県英虞湾の運用データを利用して1週間先までの水深毎海水温の高精度な予測結果を試験公開中。  
[名古屋工業大学の予測サイト](http://fresno.otsukalab.nitech.ac.jp/): <http://fresno.otsukalab.nitech.ac.jp/>

設置作業



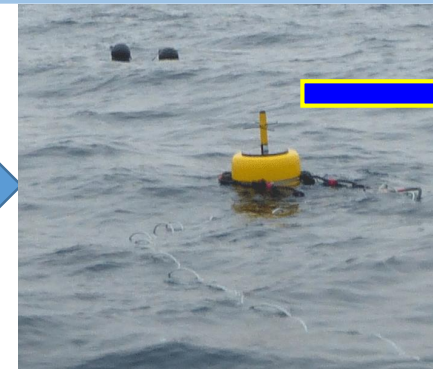
商用車1台で運搬



多層水温センサーの設置作業



伝送ブイ投入作業

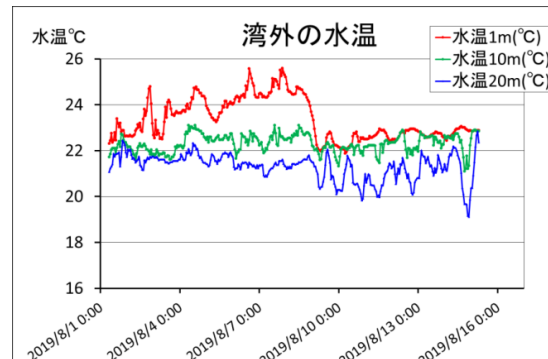
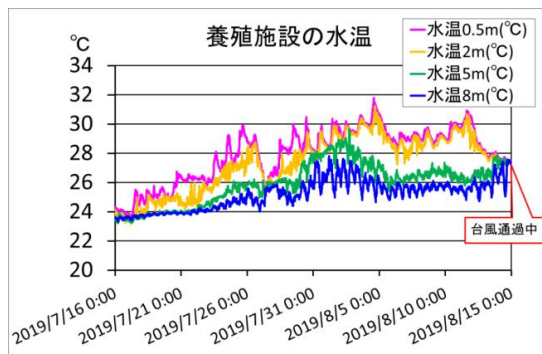


設置終了(作業時間~1時間)

送信データ例



データ推移も簡単に確認



情報記載日:2019年11月29日